

ヤリス(KSP210/MXPA1#系)

ATF(CVTフルード)熱劣化推定値初期化

- 対応車種:ヤリス(KSP210/MXPA1#系)
- 対応年式:令和2年2月～

G-scanを使用して行うヤリス(KSP210系)のATF熱劣化推定値初期化要領を記載しますので、参考にしてください。



※注意※

- ・CVTフルード交換後は「ATF熱劣化推定値初期化」を実行してください。
- ・トランスアクスルの修理等でCVTフルード全油量の約50%以上を交換したときは、「ATF熱劣化推定値初期化」を実行してください。
- ・データ表示の「ATF熱劣化推定値」が50000以上の場合はCVTフルードの熱劣化が考えられるため、CVTフルードを交換してください。

ATF(CVT)フルード熱劣化推定値初期化要領

1. IG SW OFFの状態、G-scanをDLC3コネクタ(OBD16ピン)に接続してください。
2. IG SW ONの状態、G-scanの電源をONにして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『ECT/SMT/MMT』を選択してください。

※注意※

- ・エンジンは始動しないでください。

3. 診断メニューにおいて、『作業サポート』を選択してください。



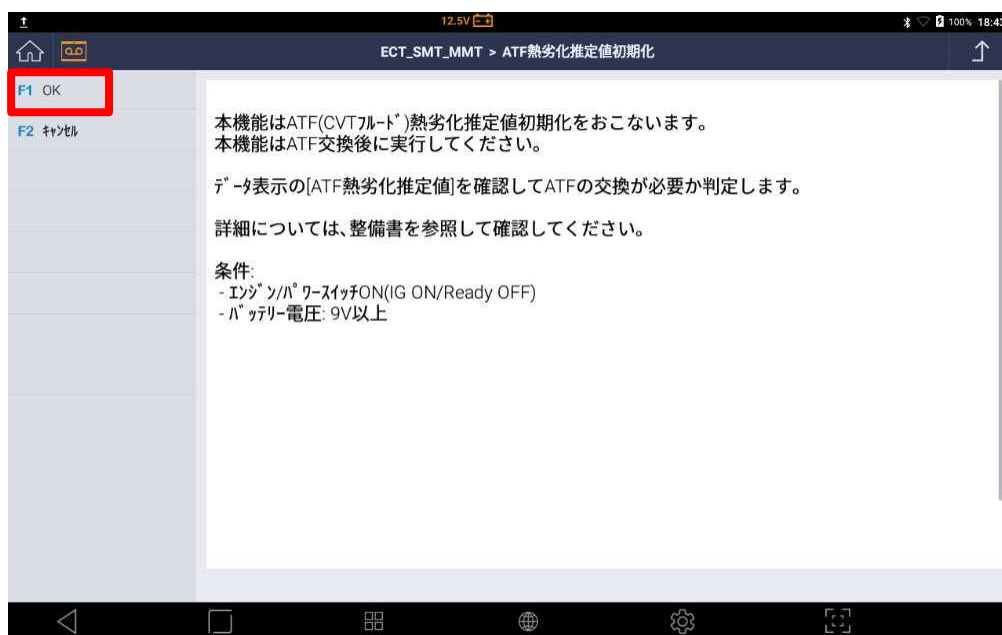
〈図: 作業サポートを選択〉

4. 『ATF 熱劣化推定値初期化』の項目を選択してください。



〈図: ATF 熱劣化推定値初期化を選択〉

5. 注意メッセージを確認し、OK ボタンを押してください。



〈図: 注意メッセージを確認〉

6. 初期化完了メッセージを確認後 OK ボタンを押してください。



〈図: 初期化完了〉